



# J R 連 合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を！！

2022 年度

No. 76

2023年2月16日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 東 海 ユ ニ オ ン 第 37 回 定 期 中 央 委 員 会

### 転換点となる2023春闘、総がかりで取り組もう！

J R 東 海 ユ ニ オ ン は 2 月 8 日、豊橋市内で「第 37 回 定 期 中 央 委 員 会」を 開 催 し た。今 回 は、新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 拡 大 が よ う や く 収 ま り つ つ あ る こ と か ら、参 加 者 全 員 が 会 場 へ 参 集 し て の 開 催 と な っ た。同 委 員 会 で 2 0 2 3 春 季 生 活 闘 争 を は じ め、当 面 す る 諸 課 題 の 解 決 に む け て、全 組 合 員 が 一 丸 と な っ て 取 り 組 む こ と を 確 認 し た。



冒頭、主催者を代表し挨拶に立った

尾内裕昭中央執行委員長（JR連合副会長）は、日夜、安全安定輸送の確保に奮闘する組合員に敬意を表し、①安全の確立、②組織の活性化、③ハートフルカンパニーの実現、④政治活動について所信を述べるとともに、2023春季生活闘争について、「組合員の頑張りにより、業績予想が通期黒字に転換しており、ターニングポイントとなる交渉となる。「総合生活改善」に取り組んで行く決意であり、関係会社を含めたJR東海グループ全体の労働条件の向上に向けても、総力を挙げて取り組む。」と決意を述べた。

また、JR連合からは宮野勇馬企画局長が出席し、コロナ禍で献身的に組合活動をけん引して頂いていることに謝辞を述べるとともに、「離職も増え、物価も上昇している。グループ全体で『働きの価値に見合った賃金』を要求し、真摯な議論をお願いしたい」と挨拶した。

議事では、執行部から「標準乗数を『4』とした定期昇給の年度初完全実施」「ベア 3,000 円 + 調整手当相当分 1,000 円の基準内賃金改善」「その他 5,000 円の総合生活改善」「夏季手当要求 2.7 箇月」などを掲げる 2023 春闘方針を含む当面の活動方針が提起された。

これに対し、17 名の中央委員等から安全の確立や春季生活闘争方針の補強、働き方改革、ダイバーシティ推進、業務課題、交運共済からこくみん共済 coop への契約移転、統一地方選挙への取り組みなどについて発言があった。



執行部答弁の後、今井孝治書記長（JR連合執行委員）が総括答弁に立ち、「自分たちの手で働きの価値に見合った賃金、働き方、職場環境を勝ち取るべく、各級機関が総がかりとなってがんばろう」と力強く答弁した。



その後、全ての議案が満場一致で採択され、尾内委員長の団結がんばろうで委員会を締めくくった。